



銀輪を光らせ、一斉にスタートする出場者―内灘町の石川県立自転車競技場

# 銀輪 快走

秋晴れの下、1490人集結

「第21回ツール・ド・のと400能登半島一周サイバル・サイクル2009」（同実行委、石川県体協、県自転車競技連盟、北國新聞社主催）は20日、内灘町の県立自転車競技場を発着点に3日間の日程で開幕した。全国から集まったサイクリング愛好者1490人のうち、初日は1219人がさわやかな秋晴れの下、同競技場から輪島市マリンタウンまでの123.6キロを走り抜けた。

【32面に関連記事】

## ツール・ド・のと開幕

午前8時半、3日間で全長409.6キロを走破するチャンピオンコースの759人、内灘町から輪島市までの一日コースに挑む460人が一斉にスタートし、能登半島の自然美に目を凝らしながら軽快にペダルをこぎ進めた。

開会式では山本正美北國新聞社事業局長があいさつ、八十出泰成内灘町長、緩詰潔県自転車競技連盟会長が激励した。

きょう七尾へ

21日は輪島市マリンタウンから七尾市の能登島マリンパーク海族公園を目指す。